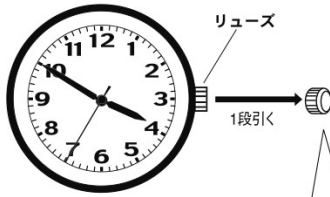


# ソーラー発電時計

SOLAR BATTERY 日常生活防水  
SUN FLAME

MR SOLAR01

## 時刻の合わせ方



### 時刻の合わせ方

リューズを回して時間を合わせます。数分進めてから逆にもどし正しい時刻に合わせます。時報サービス(TEL117)等に合わせてリューズを押し込みます。

## 太陽光発電(ソーラー)時計の機能について

本製品は、光を電気エネルギーに変えて駆動するソーラー時計です。

製品の文字盤に配置されたソーラーパネルが受けた光で発電した電力を機械回路内の充電部品に充電します。

定期的な電池交換は必要ありません。但し、充電部品は充電を繰り返す事で充電容量域が減少していきます。充電性能・稼働時間が著しく低下した段階で部品交換の為に修理お預かりが必要となります。弊社時計サービスセンターあてに修理をご依頼下さい。

### 充電時間の目安

※製品の仕様(文字盤のデザイン・色など)によって充電時間が異なります。下記表は目安としてご参照下さい。

充電容量が不足した時は、秒針が2秒運針(充電残量不足予告機能)します。秒針が通常運針に戻った時は機能動作に必要な充電が来ています。2秒運針から通常運針に戻っても充電完了となっているわけではありません。ご使用にならないときでも光の当たる場所に置き十分に充電して下さい。

充電時間の目安	晴天の直射日光下 およそ100,000ルクス	明るい室内照明下 およそ500ルクス以上
2秒運針の状態からフル充電まで	約10時間以上	約375時間以上
完全停止状態からフル充電まで	約40時間以上	約1500時間以上

\*蛍光灯直下(20cm以内)に置いた場合でも照度環境は均一条件ではありません。  
上記表の時間より長い充電時間を必要とする事があります。

### 最大充電状態からの作動時間

充電部品は充電を繰り返す事で充電容量域が減少していきます。充電性能と作動時間はご使用状況で異なります。

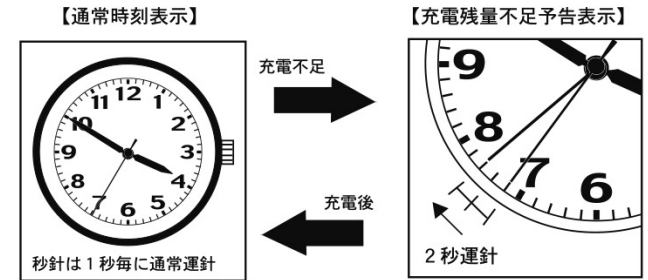
※工場出荷時の状態で劣化が無い充電部品の例

最大充電容量からの連続作動時間	
フル充電後 連続作動	約6ヶ月
フル充電後 スリープモード	約2年

\* およそ3日間光が当たらない時スリープモードになります。  
30日後迄は時計時刻が内部回路にメモリーされています。  
31日後は節電の為メモリー時間は消滅します。  
詳しくは **スリープモードについて** をご確認ください。  
上記の作動時間を過ぎて時計が動かなくなった場合、文字盤ソーラーパネルに光を当てて充電を行う事で、再び作動します。

### 充電残量不足予告機能について

充電不足の状態になると秒針の動きが2秒間隔で不規則に進むことで充電不足を知らせます。  
秒針が2秒運針を始めたら文字盤のソーラーパネルに光を当て、充電して下さい。  
必要電圧が充電されると秒針は通常運針に戻ります。



### 充電上のご注意

充電の際に時計が高温になると、故障の原因となります。高温下(50℃以上)になる場所で充電/保管することは避けて下さい。

(例) 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい光源に時計を近づけての充電、車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。

白熱灯で充電するときは、照度も必要ですが必ず50cm以上離して、時計が高温にならない様に時々確認しながら充電を行って下さい。

### スリープモードについて

光が当たらない(充電出来ない)場所で一時的に針を止め消費電力を抑える機能です。

- ①おおよそ3日間以上、光が当たらない(充電出来ない)場所に放置すると針が自動的に止まります。  
針で表示をしていませんが時刻は回路に記録され回路内部で計時しています。
- ②再び光が当たると、秒針が高速回転し自動で時/分/秒針はメモリー時間を表示します。  
最大30日間は、光を当てればメモリー時間を表示します。  
31日以降はメモリー時間が消滅/リセットされますので、リューズを引いて手動で時刻を修正して下さい。

### 取扱上のご注意

#### 【時計は常に充電を心がけて下さい】

日常、長袖などを着用して時計に光の当たりにくい環境の方は、時計が充電不足になりやすいので、ご注意下さい。  
時計を外された際は、出来るだけ明るい場所に置くよう心がけていただくよう、おすすめします。

### 電池交換について

- 本製品は、光を電気エネルギーに変えて駆動するソーラー時計です。  
製品の文字盤に配置されたソーラーパネルが受けた光で発電した電力を機械回路内の充電部品に充電します。定期的な電池交換は必要ありません。但し、充電部品は充電を繰り返す事で充電容量域が減少していきます。充電性能・稼働時間が著しく低下した段階で部品交換の為に修理お預かりが必要となります。弊社時計サービスセンターに修理をご依頼下さい。  
この時計の機械・回路内充電部品は特殊な精密機器です。同等規格部品はご使用になれません。ご自身で分解修理されますと部品・機械が破損・故障する原因となります。弊社以外で時計を開閉したものや機械内部に不当な改造をしたものは保証対象外となります。機能動作に不具合がありましたら、弊社時計サービスセンターに修理をご依頼下さい。

## 防水について

ご購入いただいた時計の防水機能は、文字盤または裏蓋に表示してあります。  
ご使用になる前に製品の防水機能をご確認の上、ご愛用下さい。  
表示のないものは、日常生活防水及び非防水です。

防水区分	ケースの裏ふた または文字盤にある表示	一時的にかかる水滴 (洗髪・雨など)	一時的に水に浸ける	水泳や水道水などが直接かかる	ダイビング素潜りなど
非防水	無表示	×	×	×	×
3 BAR 日常生活防水	無表示 または WATER RESIST(ANT) 3 BAR	○	×	×	×

○WATER RESIST(ANT) はWRまたはW.Rと表示されている場合があります。

※革バンドは防水ではありません。水に濡れると劣化や変色など傷みを早めます。

・非防水の時計  
防水性能がありませんので、直接水に触れることはお避け下さい。

・日常生活防水(3BAR) は、水滴が若干かかる程度の防水です。  
直接水がかかるシャワーや雨では、ご使用出来ません。

### ※リユース及びボタン操作のご注意

水の中、または水に濡れた状態でのリユース及びボタン操作は時計内部に水が入り故障の原因となります。  
手やボタン部分が濡れていない事を十分に確認してからボタン操作を行って下さい。

### ■ガラスのくもりについて

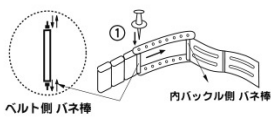
時計内部と外気との温度差により、ガラス内部にくもりが生じることがあります。  
すぐに消える場合は問題ありませんが、いつまでも水滴が残ると時計内部に水が浸入する場合がありますので修理が必要です。

## バンドの調節について

※バンドデザインによってイラストと異なっても同様の方法で調整します。

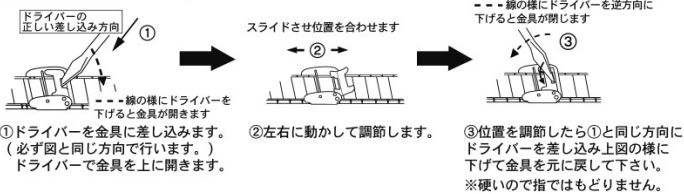
- ・ご自身で調整される場合は、お怪我の無いよう充分お気をつけ下さい。
- ・ベルトの調整が必要な場合は、最寄りのご購入店、当社サービスセンターまでお問い合わせ及び修理をご依頼下さい。

### バックル式バンドの調整



- ①先端の細い金具を使いベルト側のバネ棒を押さえます。
- ②ベルトを手前にスライドさせバックルから外します。  
この時、バネ棒が飛び出さないよう、注意して下さい。
- ③ベルトを適切な位置で固定して下さい。

### スライダー式バンドの調整



- ①ドライバーを金具に差し込みます。(必ず図と同じ方向で行います。)ドライバーで金具を上を開きます。
- ②左右に動かして調節します。
- ③位置を調節したら①と同じ方向にドライバーを差し込み上図の様に下げて金具を元に戻して下さい。  
※硬いので指ではもどりません。

(ドライバーの先端の幅は金具の穴の幅に合ったものを使用して下さい。)

※工具の幅が小さすぎると金具の開閉が出来ず金具・工具を破損させる場合があります。